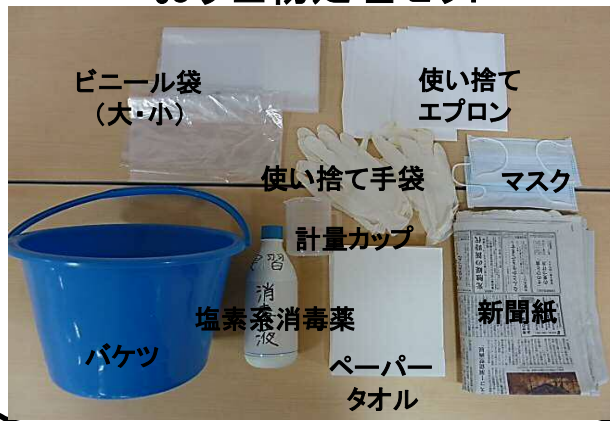


床などに飛び散ったおう吐物の処理方法

- ◆ ノロウイルス感染症患者のおう吐物や便の中には、大量のウイルスが存在しています。
- ◆ ウイルスが残らないよう、適切に処理をしましょう。
- ◆ おう吐物処理に使う物品は、日頃からまとめて保管しておきましょう。
- ◆ 処理を行う人自身が感染しないよう、注意しましょう。

おう吐物処理セット



まず最初に

- ・周囲にいる人を離れた場所に移動させる
- ・窓を開けるなど**換気**を行う
- ・おう吐物の飛散を防ぐため、新聞紙やペーパータオルで覆う
- ・汚染範囲を決める。(半径**2m**の範囲)
- ・おう吐した人の対処を行う
- ・処理する人以外は近づかず、処理は**最少人数**で行う

塩素系消毒薬の作成方法

作成する濃度	原液濃度	希釈倍率	作成方法(バケツ使用)		作成方法(ペットボトル使用)	
			原液の量	水	原液の量	水
0.1%	1%	10倍	330ml	3ℓ	ペットボトルのキャップ 5杯	500ml
	6%	60倍	50ml	3ℓ	ペットボトルのキャップ 2杯	500ml
	12%	120倍	25ml	3ℓ	ペットボトルのキャップ 1杯	500ml
0.02%	1%	50倍	60ml	3ℓ	ペットボトルのキャップ 5杯	2ℓ
	6%	300倍	10ml	3ℓ	ペットボトルのキャップ 2杯	2ℓ
	12%	600倍	5ml	3ℓ	ペットボトルのキャップ 1杯	2ℓ

- ◆ おう吐物処理には、**0.1%**に薄めた塩素系消毒薬を使用します。
- ◆ ドアノブや手すり等の拭き取り消毒には、**0.02%**に薄めた塩素系消毒薬を使用します。
- ◆ 商品によって原液の濃度が異なります。使用する商品の濃度を確認しましょう。
- ◆ 塩素系消毒薬には漂白作用があるので、注意してください。
- ◆ 薄めた塩素系消毒薬は時間がたつにつれ、効果が減っていきます。**使用のたびに作成**してください。
- ◆ 誤飲を防ぐため食品とは分けて保管し、消毒薬と明確に表示してください。
- ◆ 消毒薬作成用のバケツと計量カップに、**必要量に応じて線を引いて**おきましょう。消毒薬をすぐに作れます。

おう吐物処理手順

1. 処理を行う人は、**使い捨て手袋、マスク、使い捨てエプロン**を着用する



髪が長い人は作業前
にしばっておきます

2. おう吐物を覆った新聞紙でおおまかに取り除いた後、消毒薬に浸し軽く絞った新聞紙で取り除く



汚染を広げないように**外側から内側に向かって**拭きます
一度外から内に拭いたらビニール袋に捨ててください

3. 消毒薬に浸したペーパータオルなどで拭き取り消毒を行う



4. おう吐物を拭き取った新聞紙等はすみやかにビニール袋に捨てる



5. ビニール袋の中の空気は抜かないようにして口をしぼる



6. 小さいビニール袋を大きいビニール袋に捨てる



7. 汚染範囲を、消毒薬を浸した新聞紙等で**10~30分間**覆っておく
(塩素系消毒薬は金属を腐食させるので、消毒後に水拭きをする)



8. 使い捨て手袋やエプロン等、防護具を外し大きいビニール袋に捨てる



9. 大きいビニール袋の口を、空気を抜かないようにしてしっかりと縛り、風通しの良い場所で廃棄まで保管する



- ◆ 覆っていた新聞紙は手袋をして取り除き、ビニール袋に入れて捨てます。
- ◆ 作業が終了したら、**石けんで手洗い、うがい**をしましょう。
- ◆ 汚染区域やその周辺にいた人、おう吐物処理をした人は、**48時間健康観察**をしましょう。
- ◆ 消毒薬が使えないもの(布団やカーペットなど)には**スチームアイロン**による加熱が有効です。
おう吐物を取り除いた後、1か所当たり2分程度ずつ加熱してください。